

令和6年度（昨年度）・5年度卒業の皆さんへ

日本学生支援機構の奨学金申込について

令和7年(2025年)4月17日

教務（奨学金）係

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の令和7年度(2025年度)の大学等奨学生予約採用の申込について、以下の通りお知らせします。申込を希望する皆さんは申込関係書類（封筒）を配布します。担当者より受け取り、よく読んだ上で各自で手続き（スカラネットへ入力／本校・機構へ書類提出）を行って下さい。4月21日（月）より、入力可能となります。

1 予約採用の申込について

（1）申込み期間等

1回目：4月21日（月）～5月31日（土） 2回目：6月1日（日）～6月30日（月）

* 3回目 7月1日（火）～7月31日（木）以降もありますが、3回目は採用候補者の決定時期が遅くなります。また、夏休み・進学補習となりますので、1回目又は2回目で手続きして下さい。

◎奨学金は、進学先の大学等でも入学後に申請できます。（一部の専修学校を除く）ただし5月頃の申請となるため、実際の貸与・給付は秋頃となります。（金額は同じです）

（2）申込み方法

①申込関係書類の中の「申し込のてびき（表紙：うすい青）」を読みながら、入力する内容を確認し手引きに直接記入してください。

②①の記入内容を参照しながらパソコン、スマートフォン、タブレット等で、奨学金申込専用ホームページで入力（スカラネットによる入力）を行ってください。

◎入力を完了後データを送信すると受付番号(16桁)が表示されますので、提出書類に記入して下さい。

○スカラネット用アドレス <https://www.sas.jasso.go.jp/>

* ID・パスワードはこちら・・・

ユーザーID	書類配布時	パスワード	書類配布時 小文字です
--------	-------	-------	----------------------------

※1 入力したデータを機構へ送信した後は、原則として入力データを訂正できません。

2 奨学金申込専用ホームページでの入力が家庭等で出来ない場合は教務係まで相談して下さい。

2 本校（教務室）への書類提出手続きについて

スカラネットへの入力後、次の書類を各回の最終日までに教務室へ提出してください。

【学校への提出書類】	* 奨学金確認書兼地方税同意書以外の書類
	① <u>奨学金申込情報（インターネットでの申込終了後印刷可能）を印刷・提出。</u> 学校で送信内容を確認します。（申込みのてびき（表紙：うすい青）P.40 参照） ※スカラネット-奨学金申込へログインしメインメニューの「 <u>申込内容の確認と訂正</u> 」画面の「 <u>申込内容の印刷</u> 」ボタンを押し、両面を印刷をして提出。
	②提出書類一覧表（申込の手引き内にあります）【様式①】
	③その他該当する場合のみ提出が必要な書類

◎配布した封筒に必要な書類を入れ、卒業年度、クラス、番号、氏名、受付番号(16桁)を記載の上、本校教務室まで提出してください。（なるべく書類を折らないように注意して下さい）

3 その他

(1) 奨学金確認書兼地方税同意書は、インターネットで申込後1週間以内に、各自で簡易書留にて直接機構に郵送してください。

(2) 申込手続き終了後、学校から日本学生支援機構へ推薦し、機構で候補者を選考します。その結果通知は第1回目：10月下旬、第2回目：11月下旬頃、第3回目：12月下旬となる予定です。

(3) 候補者となった後、進学までの間、変更できる項目もあります。(貸与月額、利率算定方法 他)

(4) 【マイナンバー提出の専用コールセンター】(マイナンバー提出について不明な場合)

0570-001-320 (ナビダイヤル) ※平日9:00~18:00、通話料がかかります。

【日本学生支援機構 奨学金相談センター】(奨学金貸与・給付及び返還に関する相談)

生徒等・父母等向け

0570-666-301 (ナビダイヤル) ※平日9:00~20:00、通話料がかかります。

(5) 日本学生支援機構HPの「奨学金等進学資金ガイダンス音声説明付動画オンライン」を参考にしてください。また、オンライン版を視聴した生徒や保護者からの質問も専用の質問フォームを開設していますのでご利用ください。

◎ホーム→**奨学金**→**申込みに関する手続き**→**進学前に申し込む** (予約採用→奨学金を希望する皆さんへ (予約採用) *約30分の動画です。字幕付き等いくつかあります。

(6) 日本学生支援機構HPにある便利なコンテンツをご活用ください。

(各種てびき・案内冊子の裏面にQRコードがあります)

○進学資金シミュレーター (家計情報を入力すると受けられる奨学金の種類・金額等の試算)

○奨学金貸与・返還シミュレーション (種類、貸与月額、利率など様々な条件を試算)

○奨学金相談サイト (よくある質問をチャットボットで解決)

* 重要：成績について

HP等で、成績は3.5以上とありますが、現段階では成績は未定ですので、成績は考えずに申込をして下さい。(3年1学期までの成績が) 3.5 ない場合でも担任の推薦により応募可能となります。その場合の審査・判断は機構になりますが、例年、成績基準よりも家庭の収入(保護者が複数の場合は合算)が重要視されているようです。

* 奨学金の内容について (貸与・給付等含む)・書類の書き方等の質問は・・・

日本学生支援機構 奨学金相談センター (上記・生徒等／父母等向け)

0570-666-301 まで直接ご連絡下さい。

* 本校への提出・成績等に関する質問は・・・教務係担当又は下記直通電話へ

担当	教務係(教務室)
	宮 城(みやぎ)
	田 中(たなか)
	教務室直通電話
	0266-54-7140

(参 考)

日本学生支援機構奨学金の概要について

1 給付型奨学金

①概要

経済的理由により進学困難な方に奨学金を支給（返還不要）

国公立か私立か 自宅か自宅外かにより給付額が決まる。

（令和6年度住民税非課税世帯の場合 年額 約35万円～約91万円 給付）

貸与型と併用して申し込むことも可（ただし第一種奨学金の月額が制限される）

高校を通じて申込み（予約採用）進学先の大学等からも申込み可

給付奨学金の支給対象の奨学生は、授業料・入学金の減免も同時に受けることができます。

授業料等の減免の手続きについて、詳しくは進学先の学校（大学等）に問い合わせてください。

②申込基準

ア 学力基準

成績（評定平均値）が3.5以上。

上記に該当しない場合は、レポートの提出や学校における面談により、将来、社会で自立し活躍する目標をもって進学しようとする大学における学修意欲を有すること。

イ 収入基準

ウ 資産基準

③適格認定

受給後、毎年給付奨学生としての適格性を保ち続けているかの確認審査あり。これに満たない場合、支給が打ち切られることになる。

2 貸与型奨学金

①概要

・ 第一種奨学金（無利子） 区分（国公立か私立か 自宅か自宅外か）により貸与額が決まる。

・ 第二種奨学金（有利子） 貸与月額（2万円～12万円）が自由に選択

※第一種と第二種を両方借りることも可能（併用貸与）

・ 入学時特別増額貸与奨学金 （国の教育ローンが利用できない方対象）単独利用の申込が不可

②申込基準

ア 学力基準

第一種奨学金（無利子） → 評定平均値が3.5以上。

第二種奨学金（有利子） → 学習成績が平均水準以上である等。

イ 家計基準

父母等の生計維持者の年収・所得金額から特別控除額等を差し引いた金額が、世帯人数ごとの基準額以下であることが必要です。

※基準を満たしていない場合は、本校から推薦できません。

③保証制度

ア 人的保証制度 機構が定める選任条件を満たす人

（連帯保証人：父母等・保証人：おじ・おば等）

- イ 機関保証制度 保証機関（公益財団法人日本国際教育支援協会）に保証依頼（別途一定の保証料が必要）

④ 利率計算方法の選択（第二種）

- ア 利率固定方式 貸与終了時に決定した返還利率が返還完了まで適用
- イ 利率見直し方式 貸与終了時に決定した利率を概ね5年ごとに見直し、将来、市場金利が変動した場合、それに伴い返還利率が変更

⑤ 個人情報情報機関の利用と登録等についての同意

奨学金（貸与）を申し込む方は全員、「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」の提出が必要です。

⑥ 奨学金の進学資金及び返還について

機構（JASSO）のホームページの「進学資金シミュレーター」、「奨学金貸与・返還シミュレーション」画面を利用してください。

※所得連動返還方式（前年所得の変動に伴い、月返還額・期間が変動）を選択することが可能です。また定額返還方式の場合、月賦返還又は月賦と半年賦とを併せた併用返還も可能です。